旭川市立朝日小学校学校便り　本気で　元気で　根気よく

# あさひ

令和８年
１０月２３日発行
No. 5

http://www.asahikawa-hkd.ed.jp/asahi-els/

## 毎朝の見守りに、感謝を込めて

校長　末　木　良　典

１０月１６日（金）に全校朝会を行い、交通安全活動推進委員の天野弘子さんをお迎えし、長年の活動や子どもたちに寄せる温かな思いを紹介しました。このお話を、子どもたちだけでなく、より多くの方々にもぜひお伝えしたいと考え、当初の予定にはありませんでしたが、今回、学校だよりを発行することにしました。

天野さんは、３０年以上にわたり、ボランティアで旭川市の交通安全活動に取り組んでこられました。約２５年前からは、ご都合のある日を除いて毎朝、８条通の信号のある横断歩道で、子どもたちの安全を見守ってくださっています。その長年の功績が認められ、今年、交通栄誉章の中で最高位に当たる「緑十字金章」を受章されました。今年、北海道でこの金章を受章されたのは、天野さんを含めて３名だったそうです。

朝会では、先日、ご自宅を訪問して伺ったお話も紹介しました。冬の朝には、子どもたちが安全に横断歩道を渡れるよう除雪をしてくださり、時には、除雪車の残した重たい雪をよけることもあるそうです。ご本人のご了承をいただき、現在８４歳でいらっしゃることにも触れ、日々の見守りに伴うご苦労を伝えました。また、赤信号でも進んでくる車に気付き、青信号で渡ろうとする子どもを、とっさに止めたこともあるそうです。長年にわたり、細やかに心を配り、子どもたちの命を守ってくださっています。

天野さんは、子どもたちについて、「毎朝あいさつをしてくれたり、『ありがとうございます』と声を掛けてくれたりします。私のことを気遣ってくれる子もいます。朝日小の子どもたちは、本当に優しくて、素晴らしいですね。」と、何度も話してくださいました。その言葉を伺い、とてもうれしく思ったことも、子どもたちに話しました。

今回の朝会では、天野さんの活動や思いとともに、子どもたちのあいさつや感謝の言葉、相手を気遣う気持ちが、天野さんにしっかり届いていることを伝えました。そして、見守りをはじめ、様々な活動を通して多くの方々に支えていただいていることを当たり前と思わず、これからも感謝の言葉や相手を思いやる気持ちを大切にしてほしいと呼び掛けました。

その後、児童を代表して、天野さんが見守ってくださる横断歩道を毎朝通っている児童会副会長の佐々木さんが、感謝の気持ちを伝えました。また、児童会長の村田さんが、児童からの感謝状をお渡ししました。

天野さん、長年にわたり、子どもたちを温かく見守ってくださり、本当にありがとうございます。